

2021 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2022年 3月 23日
研究・研修課題名	院内がん登録実務 中級者研修および認定試験
研究・研修組織名 (所属)	院内がん登録委員会 (先端がん治療センター)
研究・研修責任者名 (所属)	田村研治 (先端がん治療センター)
研究・研修実施者名 (所属)	川上あゆみ (医療サービス課)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果 ( )
該当者名(所属)	川上あゆみ (医療サービス課)
学会名(会期・場所)、認定名等	国立がん研究センターがん対策情報センター 院内がん登録実務中級者認定
演題名・認証交付元等	国立がん研究センターがん対策情報センター
取得日・認定期間等	2021年 11月 17日～2026年 3月 31日
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

①目的

がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針に、「専従で院内がん登録の実務を担う者として、国立がん研究センターが提供する研修で中級者認定を受けている者を 1人以上配置すること。」と明記されており、中級認定者の配置ががん拠点病院の指定要件となっています。本研修は、拠点病院等で従事するがん登録実務初級認定者を対象として、主要 5 部位以外の UICCTNM 分類などの病期分類のコーディングを行うことができ、また各種癌取扱い規約の内容も理解するレベルの実務者の育成を目的としています。中級認定者となるためには、本研修を受講したのち、国立がん研究センターが行なう認定試験に合格することで「がん登録実務中級認定者」として認定され、4 年毎に更新試験を受ける必要があります。

本院は、年間約 1,700 症例のがん登録を行なっています。県内で唯一の特定機能病院であり、幅広い部位のがん登録を行なうとともに、都道府県がん診療連携拠点病院として県内で中心的な役割を果たすために、登録実務者が中級認定レベルの知識を身につける必要があるため、本研修を受講し、認定試験を受験することを目的としています。

②方法

がん登録実務中級者認定試験を受験しました。

【主催】国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策情報センター

【対象】以下の全ての条件に該当する者

- 1) 2020 年度までに初級者認定者となっている者
- 2) 院内がん登録実務の 2 年以上の経験、  
あるいは単独での登録症例が 1000 例以上の経験を持つ者
- 3) 標準登録様式に基づく院内がん登録を実施している医療機関に勤務しており、施設長の推薦を受けた者

【日時】2021 年 10 月 29 日

【場所】松江市 ※会場型コンピューター試験 (CBT)

【受験料】8,800 円 (税込)

【その他】本認定試験は、無償提供される e-learning やテキストで自己学習ののち、年に 1 回行われる認定試験を受験し、一定の成績を収めた者に国立がん研究センターより認定証が発行されます。なお、都道府県がん診療拠点病院の機能強化事業費は、本研修会には支出できず、各施設の負担で支出するよう定められています。

### ③成 果

今回、院内がん登録実務中級者研修及び認定試験を受験し、合格したことで中級認定者の資格を得ました。本研修会を受講したことで、初級認定者研修で学んだ、がん登録の基礎知識及び主要 5 部位の病期分類の他に、各臓器の解剖・生理や、主要 5 部位以外の UICCTNM 分類などの病期分類、国際疾病分類-腫瘍学第 3.2 版、多重がんルール「SEER 2018 準拠」等についても知識を深めることができました。

本院は県内唯一の特定機能病院であり、幅広い部位のがん登録を行なっています。本研修で得た知識により、精度の高い院内がん登録の実施と、国立がん研究センターへのデータ提供ができると考えます。また、島根県から業務を受託し全国がん登録室としての役割も担っており、県内の医療機関からがん登録届出票を収集しています。中級認定者研修で得た情報をもとに、県内の施設から収集した届出書の確認を行い、より質の高いデータ作成に繋げていきたいです。

#### 【研修プログラム (e-learning)】

##### 1) 情報提供

##### 2) 各臓器の解剖・生理、病期分類

頭頸部腫瘍 (口唇・口腔、咽頭、喉頭、鼻腔・副鼻腔、原発不明-頸部リンパ節、上気道消化管の悪性黒色腫、大唾液腺)、甲状腺、食道、胆道系腫瘍 (胆嚢、肝外胆管、Vater 膨大部)、膵臓、消化管の高分化神経内分泌腫瘍、胸膜中皮腫、胸腺腫瘍、骨・軟部腫瘍、皮膚腫瘍 (一部を除く皮膚癌、皮膚悪性黒色腫)、婦人科腫瘍 (子宮頸部、子宮内膜、子宮肉腫、卵巣・卵管・原発性腹膜癌)、男性生殖器 (陰茎、精巣、前立腺)、尿路系腫瘍 (腎、腎盂・尿管、膀胱)、眼部腫瘍 (結膜癌、結膜悪性黒色腫、ぶどう膜悪性黒色腫、網膜芽細胞腫、眼窩肉腫、涙腺癌等)、造血器腫瘍 (白血病、悪性リンパ腫)、脳・中枢神経系腫瘍

##### 3) 多重がんルール

#### 【認定試験】

認定試験を受験し、合格しました。

<試験内容> e-learning で受講した範囲

##### 1) 解剖や病期分類の基本的な考え方について

多重がんルールについて

##### 2) 11 部位の症例問題